④　ヒ素　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、ヒ素試験法第１法により試料溶液を調製し、装置Aを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき、吸収液の色は、標準色より濃くてはならない（２μg/g以下）。

乾燥減量　9.5%以下（１g，120℃，２時間）

定量法　本品を120℃で２時間乾燥し、その約１gを0.01gの桁まで量り、その数値を記録し、水を加えて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、更に水を標線まで加えて100mLとする。この溶液25mLを全量ピペットを用いて量り、水75mL及び水酸化カリウム溶液（１→10）15mLを加え、約１分間放置し、これにNN指示薬0.1g（0.05～0.14g）を加え、30秒以内に0.05mol/Lエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム溶液で滴定する。この場合において、滴定の終点は、溶液の赤紫色が青色に変わるときとする。同様の方法で空試験を行い補正する。

0.05mol/Lエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム溶液１mL＝9.311mg$C_6H_{10}CaO_4$

(ｲ)　保存の方法の基準

密閉容器に保存すること。

イ　製剤（その１　液状）

(ｱ)　成分規格

本品は、プロピオン酸カルシウム製造用原体に、水を混和した水溶性液状物である。

含量　本品は、定量するとき、表示量の95～105%に相当するプロピオン酸カルシウム（$C_6H_{10}CaO_4$）を含む。

確認試験

①　本品の表示量に従い、プロピオン酸カルシウム製造用原体約0.5gを含む量を量り、希硫酸５mLを加えて加熱するとき、特異な臭いを発する。

②　本品は、カルシウム塩の定性反応①、②及び③を呈する。

定量法　本品の表示量に従い、プロピオン酸カルシウム製造用原体約１gを含む量を有効数字３桁まで量り、その数値を記録し、100mLの全量フラスコに入れ、水を標線まで加えて100mLとする。この溶液25mLを全量ピペットを用いて量り、水75mL及び水酸化カリウム溶液（１→10）15mLを加え、約１分間放置し、これにNN指示薬0.1g(0.05～0.14g）を加え、30秒以内に0.05mol/Lエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム溶液で滴定する。この場合において、滴定の終点は、溶液の赤紫色が青色に変わるときとする。同様の方法で空試験を行い補正する。

0.05mol/Lエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム溶液１mL＝9.311mg$C_6H_{10}CaO_4$

(ｲ)　保存の方法の基準

プロピオン酸カルシウム製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

ウ　製剤（その２　粉状）

(ｱ)　成分規格

プロピオン酸カルシウム製造用原体の成分規格を準用する。

(ｲ)　保存の方法の基準

プロピオン酸カルシウム製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

⒀　プロピオン酸ナトリウム

ア　製造用原体

(ｱ)　成分規格

含量　本品は、105℃で１時間乾燥した後、定量するとき、プロピオン酸ナトリウム（$C_3H_5NaO_2$）99.0%以上を含む。

物理的・化学的性質

①　本品は、白色の結晶、顆粒又は結晶性の粉末で、臭いはない、又は僅かに特異な臭いを有する。

②　本品は、水に溶けやすく、エタノールにやや溶けやすい。

③　本品は、吸湿性である。

確認試験

①　プロピオン酸カルシウム製造用原体の確認試験①を準用する。

②　本品の水溶液（１→10）は、ナトリウム塩の定性反応①を呈する。

純度試験

①　溶状　本品1.0g（0.95～1.04g）に水20mLを加えて溶かすとき、その溶液は、無色で、濁度は僅かに微濁以下でなければならない。

②　酸及びアルカリ　本品2.0g（1.95～2.04g）を量り、新たに煮沸し、冷却した水20mLを加えて溶かし、フェノールフタレイン試液２滴を加え、試料溶液とする。

試料溶液が無色の場合は、0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液0.3mLを加えるとき、紅色を呈する。また、試料溶液が紅色の場合は、0.1mol/L塩酸0.3mLを加えるとき、その色は消える。

③　重金属　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、重金属試験法第１法により試料溶液を調製し、鉛標準液2.0mLを用いて比較液を調製して重金属の試験を行うとき、試料溶液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くてはならない（20μg/g以下）。

④　ヒ素　本品1.0g（0.95～1.04g）を量り、ヒ素試験法第１法により試料溶液を調製し、装置Aを用いる方法によりヒ素の試験を行うとき、吸収液の色は、標準色より濃くてはならない（２μg/g以下）。

乾燥減量　5.0%以下（１g，105℃，１時間）

定量法　本品を105℃で１時間乾燥し、その約0.2gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、非水滴定用氷酢酸40mLを加え、加温して溶かし、放冷した後、0.1mol/L過塩素酸で滴定する（指示薬　塩化メチルロザニリン試液３滴）。同様の方法で空試験を行い補正する。

0.1mol/L過塩素酸１mL＝9.606mg$C_3H_5NaO_2$

(ｲ)　保存の方法の基準

密閉容器に保存すること。

イ　製剤（その１）

(ｱ)　成分規格

プロピオン酸ナトリウム製造用原体の成分規格を準用する。

(ｲ)　保存の方法の基準

プロピオン酸ナトリウム製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

ウ　製剤（その２）

(ｱ)　成分規格

本品は、プロピオン酸ナトリウム製造用原体に、賦形物質を混和した粉末である。

含量　本品は、定量するとき、表示量の90～110%に相当するプロピオン酸ナトリウム（$C_3H_5NaO_2$）を含む。

確認試験

①　本品0.5g（0.45～0.54g）に水５mLを加え、十分にかき混ぜた後、ろ過し、そのろ液に希硫酸５mLを加えて加熱するとき、特異な臭いを発する。

②　本品１g（0.5～1.4g）に水10mLを加え、かき混ぜた後、ろ過するとき、そのろ液は、ナトリウム塩の定性反応①を呈する。